

とちぎのスポーツ

～多彩な種目を楽しむ～

栃木県民は、どんなスポーツをしているのでしょうか。

行動者率を全国順位で見ると、登山・ハイキングをする人の割合は全国4位、サイクリングが全国7位と上位になっています。

平均行動日数では、柔道が全国5位、ウォーキング・軽い体操が全国7位、サッカーが全国10位などと多彩な種目が並びます。

また、人口10万人当たりのゴルフ場数、練習場数はともに全国1位となっており、ゴルフ行動者率は全国8位、ゴルフ用具一式の普及率は全国1位で、ゴルフの人気の高いことがわかります。

さらに、一世帯当たりのスポーツ費にける支出月額是全国1位です。

このように、県民は栃木の豊かな自然環境や既存の施設を上手に利用し、スポーツを楽しむとともに、日光アイスクラス、栃木SC、栃木ブレックスなど続々と誕生しているプロスポーツに、サポーターとして熱い声援を送っています。

一方、日常生活の中でスポーツにかかわらない人が増加していますが、健康づくりや心身のリフレッシュを図るためにも、自分にあったスポーツを発見し、親しみたいものです。

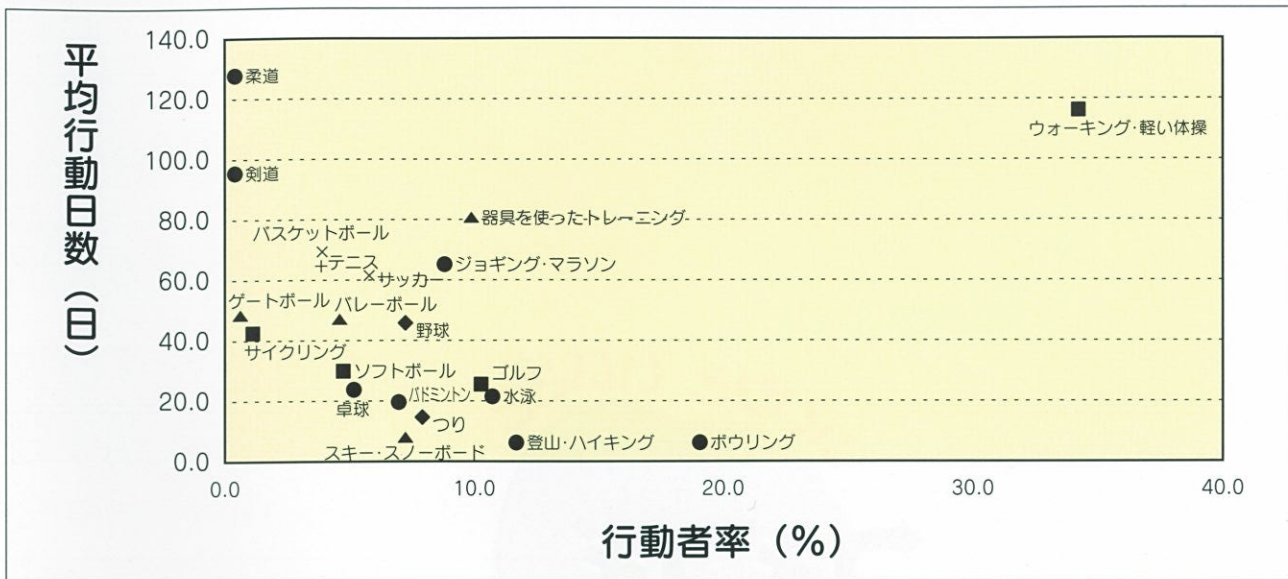
指 標 名		指標値	順位	全国
1	一世帯当たりのスポーツ費支出額	3,364円	1位	2,517円
2	登山・ハイキング行動者率	11.7%	4位	9.9%
3	サイクリング行動者率	9.9%	7位	8.8%
4	ゴルフ（練習場を含む）行動者率	10.4%	8位	8.9%
5	バドミントン行動者率	7.0%	13位	6.5%
6	柔道平均行動日数	128.2日	5位	77.1日
7	ウォーキング・軽い体操平均行動日数	115.5日	7位	107.1日
8	サッカー平均行動日数	63.0日	10位	50.9日
9	人口10万人当たりのゴルフ場数（H17）	6.99所	1位	1.92所
10	ゴルフ用具一式の普及率	48.3%	1位	38.4%

※ 1・10 平成16年全国消費実態調査〔二人以上の世帯・全世帯〕、2～8 平成18年社会生活基本調査（総務省統計局）
9（社）日本ゴルフ場事業協会「ゴルフ場利用税の課税状況からみたゴルフ場の数・利用者数等」をもとに、県統計課にて算出。

用語の解説

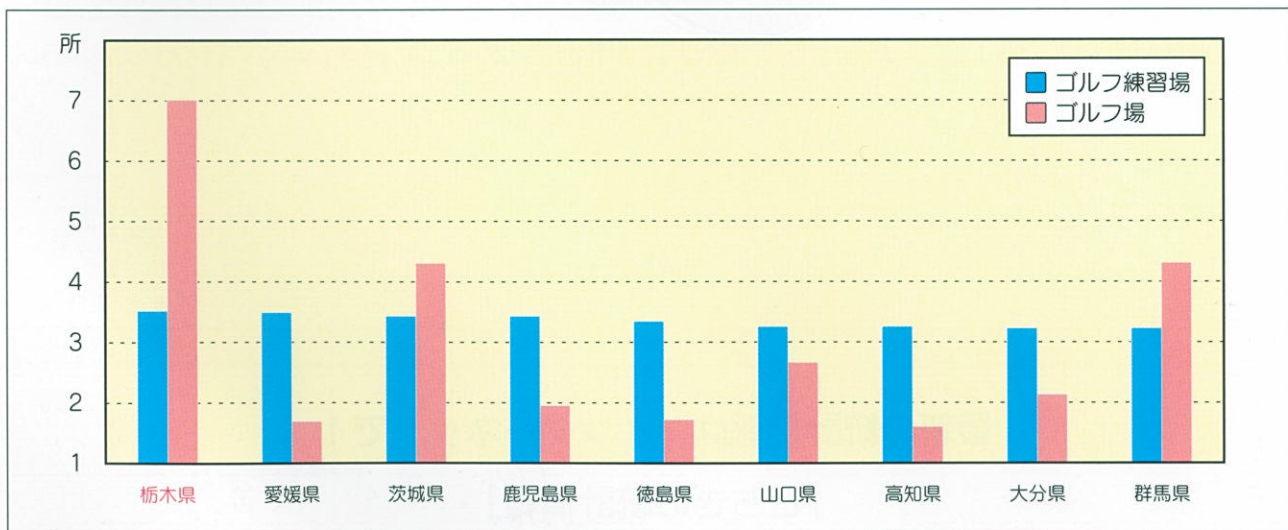
- 行 動 者 率 = 行動者数 ÷ 属性別人口 × 100
- 平均行動日数(日/年) = 行動者について平均した過去1年間の行動日数
- ス ポ ー ツ 費 = スポーツ用具、用品、観覧料、施設使用料（ボウリング場・ゴルフ場・テニスコート・野球場・体育館など）

図1 スポーツの平均行動日数と行動者率の関係



※平成18年社会生活基本調査（総務省統計局）

図2 人口10万人当たりのゴルフ練習場数及びゴルフ場数
(練習場数全国上位10県)



※(社)日本ゴルフ場事業協会の資料をもとに、県統計課にて作成。

トピックス

ーメタボには気をつけましようー

成人肥満者率(※1)は、男性28.6%(全国28.9%)、女性28.4%(全国23.0%)で、女性が高めですが、フィットネスクラブなどを含む人口10万人当たりのスポーツ施設数は全国2位(※2)、利用者数は全国5位(※2)と充実しています。身近にある施設を上手に活用し、さらに食事のバランスを整え健康を維持したいですね。

※1平成15年県民健康・栄養調査(栃木県)、※2平成16,17年特定サービス産業実態調査(経済産業省)